

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ファッションビジネス I Fashion Business I		1年	前期	月曜日・1時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
ファッションフィールド関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッションビジネス II				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部芳子	福祉棟 3F	月・水 12:30～16:00 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
社会生活にとって、ファッションは欠かせないものになっている。ファッション産業界の成り立ちやそれを取り巻く環境、商圏の変化などを学ぶ。具体的には素材・生産・企画から製造・仕入・販売・販促・流通・プレスまで、ファッションビジネスを幅広く理解する。				
授業の到達目標				
ファッション商品の素材・製造・流通・販売までの流れを学ぶことができる。ファッション商品を理解し、消費社会としてのファッションビジネスを理解することができるようにする。				
授業の方法				
教科書中心であるが、多くの資料と実際を見ることで、実践的な理解を深める。				
学習の成果				
ファッションビジネスに関する専門用語を理解することができる。ファッションビジネスの基礎知識や企業と消費者、生活者の立場で流通に関することを理解することができる。ファッションビジネスを広い視点で理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ファッションビジネスの歴史と成り立ち ①オートクチュール創設 ②既製服時代 ③2000年以降、近年の流行現象			
第2回目	日本の繊維産業の実情と消費傾向			
第3回目	ファッションビジネスのしくみ / コーディネートについて			
第4回目	ファッション産業の分類・関連産業 (素材・製品・流通)			
第5回目	アパレルメーカーの業務の流れとシステム			
第6回目	ファッションビジネスのマーケティング・企画・生産			

第7回目	アパレル小売り業の構造 (百貨店・路面店・ショッピングセンター・量販店・通販) [調査]		
第8回目	デザインとマーケティング、ブランド商品企画		
第9回目	ショップ運営・販売・仕入れ・在庫管理・販売実務・顧客管理		
第10回目	アパレル品質マネジメント 消費者対応		
第11回目	日本の流通・海外の流通		
第12回目	バイヤー業務・販売・販促・広報・プレスの仕事		
第13回目	商品プレゼンテーション (VMD)		
第14回目	グローバル化するファッションビジネス		
第15回目	ファッションビジネスの今後、テスト		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	10%	授業の遅刻、欠席がなく、講義内容が理解され、質問等に的確に答えられているか。
	レポート		
	調査報告書	20%	自ら調査し、テーマに沿った内容でまとめられているか。
	小テスト	10%	途中段階の理解度の確認
	中間・学期末試験	60%	フィールドの中心科目につき、授業がしっかり理解されているか。
	発表内容 (態度含む)		
	その他		
教科書と参考図書			
ファッションビジネス (文化服装学院編) 図解アパレル業界ハンドブック (東洋経済新報社)			
履修上の心得・ルール			
積極的な受講を望む。授業の遅刻、私語、携帯の利用は禁ずる。			